



みてみて保育実施報告

認定こども園山のまち

みてみて保育とは、日常の保育活動を法人内でお互い見学し、その後、意見交換を行う事により、保育の質の向上や専門性向上を目指す研修方法です。

令和7年6月24日(火)・12月9日(火) 9:30~15:00

ねらい

- ・現場の困り感を吸い上げ、教育保育の現状を把握し、今後の取り組みの視点を検討
- ・実践を共有し合うことにより、新たな気づきや互いの保育を振り返る
- ・様々な視点から見る、保育内容の充実や環境整備の在り方を考える

活動内容

- ・登園時の様子や合同活動の様子を観察する。
- ・実践を共有したり、保育に参加する。
- ・各クラスの指導案に記載の「現在困っていること」に着目し、保育内容を観察しながら今後の取り組みの視点を検討する

参加者からの評価

- ・異年齢活動において年長児がリードしながらもそれぞれが好きなあそびを楽しんでいる。
- ・コーナーあそびの環境が整えられている。(手作り玩具も充実している)
- ・合同活動においても楽しみながらも落ち着いて参加している。
- ・給食について、待っている保育ではなく、待つ時間も楽しめる工夫を考える。
- ・客観的に保育を見た時に、子どもたちのわくわくの表情、少し緊張した表情などがよく見えたので、自分自身も保育をするうえにおいて子ども達にしっかり向き合い、子どもの発信を見逃さないように努めていきたい。

今後に向けて

- ・保育環境の整備について、職員全体で意識を共有し、安心・安全な生活環境の維持と意識の継続、向上に努める。
- ・子どもを真ん中に置いた保育を軸に置き、ねらいを明確にした計画立案や振り返りを行い、PDCAサイクルによる実践の質の向上に努めていく。